

デジタルフリーペーパー

『関大生が行く JR穴場スポットぶらり旅』の制作



#地域の魅力の再発見 #マイクロツーリズム #地域の食文化

目的

「買」、「飲」、「食」の3つをテーマに、JR西日本の京都線、神戸線、大阪環状線の各線沿線の住民の方々に「電車に乗る新たな楽しみを提供したい」という思いを具体化して伝える

活動の概要

- **主な連携先**
西日本旅客鉄道株式会社近畿統括本部アーバン未来づくりプロジェクト／株式会社JR西日本コミュニケーションズ／京阪神のJR沿線事業者など／関西大学総合情報学部岡田ゼミ（せんべろチーム、純喫茶チーム、土産チーム）
- **活動地域**
大阪府大阪市・吹田市・茨木市・高槻市、兵庫県神戸市・西宮市
- **活動期間**
2020年～2021年
- **活動資金**
JR西日本コミュニケーションズ株式会社、関西大学総合情報学部実験実習材料費

連携にいたる経緯

数年前からおこなわれている当ゼミとJR西日本との連携事業が4年目を迎える中、折からのコロナ禍の下でより沿線地域の人々との連携を深めていきたいというJR側の意向を汲んで、新たな展開の可能性を探ることとなった。

活動内容

JR京都線、JR神戸線、JR大阪環状線の各沿線にある店舗を取材対象として、3つのテーマのもとに作成したオンライン上のデジタルパンフレットで紹介し、そのパンフレットの概要と、リンクのQRコードを印刷したチラシをJR西日本の京阪神主要駅で配架した。

3つのデジタルパンフレットの概要は次の通りである。

「買」[「こだわりのお土産～幸せのお持ち帰り～」]：主要ターミナル駅の売店や百貨店で売られている著名な土産品ではなく、その駅でしか買えない地元こだわりのお土産情報を提供。

「飲」[「飲み方改革～せんべろめぐり～」]：二十歳になっただけでお酒になじみのない若者を対象に、安く、美味しく、ひとりでも楽しめる酒場を紹介。

「食」[「見逃せない喫茶店」]：常連客以外には入りづらさがあるものの、レトロな雰囲気が漂う純喫茶店を楽しめる魅力を紹介。

活動の成果

- 取材先の各店舗について、それぞれの特徴をくみ上げて発信することができた
- コロナ禍におけるさまざまな制約下での情報発信の可能性を試みることができた

今後の課題・目標・展開の可能性

- 取材対象先について、よりコンセプトを明確にした絞り込みの下で交渉する
- SNSによる告知との連携をより強固に
- 感染拡大による行動制限などがある状況での取材活動と告知両面の課題

総合情報学部 教授 岡田 朋之 Okada Tomoyuki



専門はメディア論、文化社会学。ゼミでは「メディアで社会を動かす」をテーマに据え、メディアの制作実践を通して社会を問い直すことを課題としている。

